

社協名	社会福祉法人清川村社会福祉協議会
対象となる実践 ※いずれか1つに○ をつける。	①小地域福祉活動の推進 ②地域包括ケアの推進 ③総合相談機能の強化に向けた取り組み ④ボランティアセンター機能強化に向けた取り組み ⑤その他 []
助成事業名	障害者スポーツを通じたボランティアセンター機能強化事業

○事業の目的

1. 村内の小中学校と連携し、福祉教育に「障害者スポーツ体験」を取り入れる
2. 村民を対象に「パラスポーツフェスティバル」を開催し、障害者観を醸成する
3. 上記1. 2により醸成された障害者観を基礎に、村内の障害者と交流を図り、具体的なボランティア活動の実践に繋がるよう取り組む

○取組みの概要

1 村内の小中学校との打ち合わせの実施

パラスポーツフェスティバルの前後に、村内全4校の福祉教育担当職員等と打ち合わせを行う。開催前は、当該事業の目的の説明とフェスティバルの児童・生徒への周知依頼、開催後は、今年度の振り返りと次年度の福祉教育事業の進め方について協議した。

2 パラスポーツフェスティバルの実施



田口亜紀さんによる講演会

テーマ「車いすからパラリンピック、そして2020年へ」



ビームライフルとウィルチェアーラグビーの体験会

ウィルチェアーラグビーでは、選手のトークショーも実施しました。



参加者の感想（アンケート抜粋）

・テレビで見るよりも迫力がありかっこ良かったです。「車いす＝障害者＝かわいそう」という考えになりがちですが、一緒にスポーツをする事で考え方が変わりました。

○今後の展望

フェスティバルの参加者は想定よりも少なかったが、フェスティバルを実施したことにより、村民、生徒等の福祉意識の醸成を図ることができた。次年度もパラスポーツフェスティバルの開催を通じて、住民、児童・生徒の「障害者観」を変遷させ、障害者支援のボランティア登録促進へと昇華させていきたい。